

安全データシート

1. 化学品および会社情報

化学物質等の名称	N,N-ジエチルプロパ-2-イン-1-アミン硫酸塩 50%水溶液
製品名	SOLAR DEP 50
整理番号	ZC22007-01
会社名	善ケミカル株式会社
住所	東京都台東区台東2-30-2 善ビル3階
電話番号	03-3839-5861
緊急時の電話番号	03-3839-5861
FAX番号	03-3839-5877
推奨用途および使用上の制限	ニッケルめっきの光沢剤

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性	-
健康に対する有害性	急性毒性(経口) 区分4 急性毒性(吸入: 蒸気) 区分4
環境に対する有害性	水生環境有害性 長期(慢性) 区分3

注) 上記のGHS分類で区分の記載がない危険有害性項目については「分類対象外」、「区分に該当しない」または「分類できない」に該当する。

ラベル要素

絵表示またはシンボル



注意喚起語

警告

危険有害性情報

H302 飲み込むと有害
H332 吸入すると有害
H412 長期継続的影響によって水生生物に有害

注意書き

【安全対策】

P261 煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。
P264 取扱い後は手や顔などをよく洗うこと。
P270 この製品を使用するときに、飲食または喫煙をしないこと。
P271 屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。
P273 環境への放出を避けること。

【応急措置】

P301+P330+P312 飲み込んだ場合: 口をすすぐこと。気分が悪いときは医師に連絡すること。
P304+P340+P312 吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪いときは医師に連絡すること。

【廃棄】

P501 内容物、容器の廃棄を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

他の危険有害性

情報なし

3. 組成および成分情報

単一物質・混合物の区別 混合物
分類に寄与する不純物および安定化添加物 情報なし

成分1:

化学名または一般名

N,N-ジエチルプロパ-2-イン-1-アミン硫酸塩(N,N-Diethylprop-2-yn-1-amine sulfate)

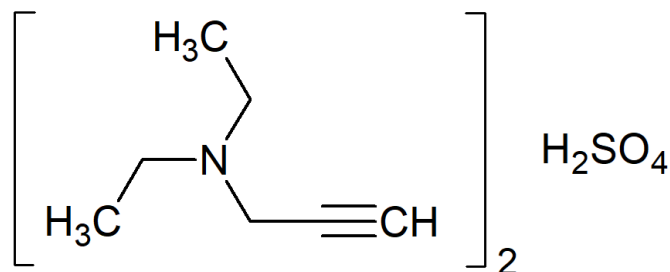
別名

N,N-ジエチル-2-プロピンアンモニウム硫酸塩(N,N-Diethyl-2-propyne ammonium sulfate), ジエチルプロパギルアンモニウム硫酸塩(Diethylpropargylammonium sulfate), 2-Propyn-1-amine, N,N-diethyl-, sulfate

分子式 (分子量)

C₁₄H₂₈N₂O₄S (320.449)

化学特性 (示性式または構造式)



CAS番号

84779-61-3

官報公示整理番号

化審法： 該当なし

安衛法： 該当なし(ただし N,N-ジエチルプロパ-2-イン-1-アミン(2-(10)-231)と硫酸(公表化学物質)とのオニウム塩につき新規化学物質として扱わない)

濃度または濃度範囲

49-51 %

成分2:

化学名または一般名
濃度または濃度範囲

水(Water)

49-51 %

4. 応急措置

一般的な注意

汚染された衣服はただちに脱ぐこと。

患者が意識を失う場合は、横向きの姿勢で寝かせること。

吸入した場合

応急措置をする者は製品に触れたりしないように十分に注意すること。

被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

呼吸をしていない場合は人工呼吸を施すこと。ただし口対口蘇生法は避けること。

皮膚に付着した場合

医師に連絡すること。

ただちに、汚染された衣類をすべて脱ぐこと、または取り去ること。

皮膚を多量の水と石けんで十分に洗うこと。

眼に入った場合

医師に連絡すること。

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

飲み込んだ場合

医師に連絡すること。

口をすすぐこと。

意識のない場合は口に何も与えないこと。

医師に連絡すること。

予想される急性症状および遅発性症状の最も重要な兆候および症状

情報なし

応急措置をする者の保護

適切な保護具を着用すること。

医師に対する特別注意事項

情報なし

5. 火災時の措置

消火剤

粉末消火剤、泡消火剤

使ってはならない消火剤

情報なし

特有の危険有害性

火災により有害な蒸気、煙、フュームなどが発生するおそれがある。

特有の消火方法

関係者以外は安全な場所に退去させる。

消火作業は、風上から行い、周囲の状況に応じた適切な消火方法を用いる。

周辺火災の際は危険でなければ火災区域から容器を移動する。

容器が熱に晒されているときは、移動させず、散水して容器を冷却する。

安全に対処できるならば着火源を除去する。

汚染された消火水は収集し、排水溝などに流れ込まないように注意する。

消火後の残骸や消火に用いた消火剤などは関係法規にしたがって廃棄する。

自給式の呼吸器を着用すること。

消火を行う者の保護

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置

個人用保護具を着用する。

漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。眼、皮膚への接触や吸入も避ける。

漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立入りを禁止する。

風下の人を退避させる。

漏出場所の風上から作業する。

十分に換気を行う。

全ての着火源を取り除く。

環境に対する注意事項
回収・中和

封じ込めおよび浄化方法・機材
二次災害の防止策

環境中に放出してはならない。
密閉できる適切な容器に回収する。
付着物、回収物などは関係法規に基づき速やかに処分する。
危険でなければ漏れを止める。
排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7. 取扱いおよび保管上の注意

取扱い 技術的対策

局所排気・全体換気
安全な取扱いのための注意
事項

『8. ばく露防止および保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
『8. ばく露防止および保護措置』に記載の局所排気、全体換気を行う。
使用前に取扱説明書を入手すること。
すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
作業員は化学品の取扱いについての適切な訓練を受けていること。
適切な保護具を着用すること。
屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。
漏れ、あふれ、飛散しないよう注意すること。
蒸気やエアロゾルが発生する場合には、換気、局所排気を用いること。
できれば密閉系で取り扱うこと。
万一 漏れ出たときのために処理剤、処理装置などを準備しておくこと。
容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、または引きずるなどの粗暴な取扱いをしないこと。
口に入れないこと。
皮膚との接触を避けること。
粉じん、ガス、ミスト、蒸気、スプレーなどを吸入しないこと。
眼に入れないこと。
この製品と身体とのあらゆる接触を避けること。
汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
汚染された衣類を再利用する場合は洗濯すること。
空の容器でも内部に製品が残存している場合もあるので取扱いには注意すること。
使用していないときは容器を密閉しておくこと。
『10. 安定性および反応性』を参照。
この製品を使用するときに飲食または喫煙をしないこと。
取扱い後は手や顔などをよく洗うこと。
情報なし
『10. 安定性および反応性』を参照。
容器を密閉して保管すること。
冷暗所に保管すること。
換気の良い場所で保管すること。
直射日光や火気、熱、スパーク、混触危険物質、食料などから離して保管すること。
容器を物理的な衝撃から保護する措置を講ずること。
製品の漏れがないか定期的に確認をすること。
万一 漏出したときに備えて必要な処理剤、処理装置などを準備しておくこと。
施錠して保管すること。
情報なし

接触回避
衛生対策

保管

技術的対策
混触危険物質
安全な保管条件

容器包装材料

8. ばく露防止および保護措置

管理濃度
許容濃度(ばく露限界値、生物学的ばく露指
標)

情報なし

設備対策

日本産衛学会
ACGIH

情報なし
情報なし
この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。
ばく露を防止するため、装置、機器の密閉化あるいは局所排気装置を設置すること。
排気装置を付けて、蒸気などが滞留しないようにすること。
装置は耐腐食性のある材質を用いて作ること。
製品に作業員が直接触れたり、ばく露したりしないような配慮をすること。
緊急事態に備えて避難動線を確保しておくこと。
適切な呼吸器保護具を着用すること。
適切な保護手袋を着用すること。
適切な保護眼鏡を着用すること。
適切な身体保護具を着用すること。
この製品を使用するときに、飲食または喫煙をしないこと。
取扱い後は手や顔などをよく洗うこと。
保護具を脱ぐときは十分に注意すること。

保護具

呼吸器の保護具
手の保護具
眼の保護具
皮膚および身体の保護具

衛生対策

汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

9. 物理的および化学的性質

物理状態	液体
色	うすい黄色
臭い	アミン臭
臭いの閾値	情報なし
融点	情報なし
凝固点	情報なし
沸点または初留点および沸点範囲	情報なし
燃焼性	情報なし
爆発下限および上限/引火限界	情報なし
引火点	情報なし
自然発火温度	情報なし
分解温度	情報なし
pH	3-6
動粘性率	情報なし
溶解度	混和: 水
n-オクタノール/水分配係数(log Pow)	情報なし
蒸気圧	情報なし
密度および/または比重	1.080 - 1.095
蒸気比重	情報なし
粒子特性	情報なし

参考: N,N-ジエチルプロパ-2-イン-1-アミン について:

物理状態	液体
色	無色～黄色
沸点または初留点および沸点範囲	120 °C
引火点	20 °C
密度および/または比重	0.81

10. 安定性および反応性

反応性	情報なし
化学的安定性	法規制に従う取扱いにおいては安定と考えられる。
危険有害反応性の可能性	情報なし
避けるべき条件	加熱、高温、裸火、静電気、スパーク、直射日光、衝撃、摩擦、混触危険物質との接触
混触危険物質	強酸化剤、強アルカリ、強酸
危険有害性のある分解生成物	一酸化炭素、二酸化炭素、窒素酸化物、硫黄酸化物、N,N-ジエチルプロパ-2-イン-1-アミン

11. 有害性情報

急性毒性	経口	N,N-ジエチルプロパ-2-イン-1-アミン硫酸塩: 区分4(変換値=500mg/kg)の含有率が 50 %であることから、水溶液全体として ATE = 1000 mg/kgほどとなり、区分4に該当。
	経皮	N,N-ジエチルプロパ-2-イン-1-アミン硫酸塩: 区分4(変換値=1100mg/kg)の含有率が 50 %であることから、水溶液全体として ATE = 2200 mg/kgほどとなり、区分に該当しない。
	吸入: ガス	GHS定義による気体ではない。
	吸入: 蒸気	N,N-ジエチルプロパ-2-イン-1-アミン硫酸塩: 区分4(変換値=4500ppm)の含有率が 50 %であることから、水溶液全体として ATE = 9000 ppmほどとなり、区分4に該当。
	吸入: 粉じん および ミスト	データ不足のため分類できない。
皮膚腐食性/刺激性		データ不足のため分類できない。
眼に対する重篤な損傷性/刺激性		データ不足のため分類できない。
呼吸器感作性		データ不足のため分類できない。
皮膚感作性		データ不足のため分類できない。
生殖細胞変異原性		データ不足のため分類できない。
発がん性		データ不足のため分類できない。
生殖毒性		データ不足のため分類できない。
特定標的臓器毒性(単回ばく露)		データ不足のため分類できない。
特定標的臓器毒性(反復ばく露)		データ不足のため分類できない。
誤えん有害性		データ不足のため分類できない。

12. 環境影響情報

水生環境有害性 短期(急性)	データ不足のため分類できない。
----------------	-----------------

水生環境有害性 長期(慢性)	(毒性乗率 * 100 * 区分1) + (10 * 区分2) + 区分3が 50%であり、濃度限界(25%)以上のため、区分3に該当。
残留性/分解性	情報なし
生態蓄積性	情報なし
土壤中の移動性	
n-オクタノール・水分配係数	情報なし
土壤吸着係数(Koc)	情報なし
ヘンリー定数(PaM3/mol)	情報なし
オゾン層への有害性	当該物質はモントリオール議定書の附属書に列記されていない。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	<p>廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。</p> <p>廃棄に際しては適切な保護具を着用すること。</p> <p>都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理すること。</p> <p>廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上処理を委託すること。</p>
汚染容器および包装	<p>容器は洗浄してリサイクルするか、関連法規制ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行うこと。</p> <p>空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。</p>

14. 輸送上の注意

国際規制	
海上規制情報	海上輸送上の危険品に該当しない。
航空規制情報	航空輸送上の危険品に該当しない。
国内規制	
陸上規制情報	情報なし
海上規制情報	情報なし
航空規制情報	情報なし
特別安全対策	情報なし
その他の注意	<p>輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。</p> <p>重量物を上積みしない。</p>
緊急時応急措置指針番号	-

15. 適用法令

該当なし

16. その他の情報

主な参考文献	<p>ウェブサイト "PubChem" (2022/5/16 アクセス)</p> <p>SAFETY DATA SHEET "SOLAR DEP 50", GRAUER & WEIL (INDIA) LIMITED, Revised on 2015/1/31</p> <p>QUALITY CONTROL CERTIFICATE "Solar DEP 50", GRAUER & WEIL (INDIA) LIMITED, Issued on 2017/4/1</p> <p>安全データシート "3-Diethylamino-1-propyne", 東京化成工業株式会社 2022/3/19 改訂版</p>
--------	---

記載内容の取り扱いについて

記載内容は、現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には、新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。

改訂履歴 2022年 5月 16日 作成